

舞踊関係文献目録 一昭和56年一

*この目録は、昭和56年度に発行された舞踊関係の日本語文献(単行本、雑誌・紀要論文)を収録したものである。

*便宜上、次の分類に従った。

総記・芸術(一)・芸術(二)・民俗・教育

このうち、芸術は舞台舞踊、民俗はそれ以外の舞踊とし、芸術(一)は日本の舞踊、(二)は外国の舞踊とした。

*各項においては、単行本、雑誌の特集、雑誌・紀要論文の順に配列した。

*雑誌・紀要の号数は洋数字、巻号は0-0とし、月刊誌は0月とした。

*本目録は、研究交流・情報交換の場として充実させるため、会員の御教示をお願いします。

<総記>

舞踊年鑑〔V〕-1981- 全日本舞踊連合編 全日本舞踊連合

日本舞踊・バレエ・現代舞踊・児童舞踊の昭和55年の記録。内容は、舞踊界の概況、主な舞台写真、舞踊公演記録、舞踊家名鑑、舞踊界の内外。

舞踊の世界を探る R.ランゲ 小倉重夫訳 音楽之友社

“The Nature of Dance, An Anthropological Perspective”の完訳。内容は、「舞踊とその起源一定義と見解」「リズムと舞踊」「運動-舞踊の素材」「運動が舞踊になるとき」「舞踊が芸術になる」「舞踊-精神活動の伝達手段」「舞踊の機能と形式」「舞踊-人類文化の一要素」

岩波美術館 テーマ館4 踊るひと 高階秀爾 岩波書店

「踊る」ことを題材とした古今東西の絵画など24点を収める。

身体文化について(1)-Walter Siegerを中心として-

藤井政則 阪南編集 人文・自然科学編17(1)

舞踊の型と意味 石黒節子 伝統芸術第5

抽象舞踊の意味 上林澄雄 舞踊学4

Dancing-Doing 論-Dance for allへの序章 - 秋葉尋子 東京学芸大学紀要33

ダンス・フォア・オール時代の松本千代栄 女子体育2月

身体像からみたダンスについての研究 米井澄江 順天堂大学保健体育紀要13

R. ラバンの運動空間概念 島内敏子 日本女子体育大学紀要11

舞踊の表現構造に関する一考察 柴真理子 (女

子聖学院短期大学)紀要13

舞踊におけるポーズと表現内容に関する計量的解析 松下清子 弘前大学教育学部紀要45

舞踊表現における音と動きに関する研究Ⅱ 鷺尾濤子・大浦美代 上智大学体育14

感情語刺激に伴う表現運動の空間特性について 平井タカネ・畑野裕子 舞踊学4

意味空間における舞踊のイメージ-舞踊における音の効果 頭川昭子・松浦義行 (筑波大学) 体育科学系紀要4

舞踊作品の表現特性に関する事例研究 川端ひろ子・伊藤壹郎 藤女子大学・藤女子短期大学紀要2-18

舞踊作品の構造と機能について-舞踊作品「静」の分析と鑑賞調査を通して- 平岡芳美 (仁愛女子短期大学)紀要12

ダンス表現とRorschach-Testの情緒的側面の評価との関連性について 北島見江・林悦子・伊達万里子 (武庫川女子大学)紀要・文学部編28

舞踊用語に関する研究(Ⅲ) 松本千代栄・厚母宗子・桑野和美・佐々木昌代 舞踊学4

舞踊の動作分析から得るもの 富士波雄三 同上
ダビデの踊り-根源からの跳躍- 立野正裕 芸文研究45

分裂と結合-音楽と舞踊の相互干渉 市川雅 音楽芸術10月

日本と欧州における踊狂の比較舞踊論的考察 片岡康子・一柳智子 舞踊学4

明治期の舞踏的遊戯-その精神と技術の様相 松本千代栄・香山知子 同上

相互作用を目的とするCreation Workの試み 葵妖子 同上

動きの世界・私と舞踊 仙石新 女子体育4月

動きの世界・静 美しい身のこなし 三ツ谷洋子 女子体育2月

モットとマッが盛られた節と踊り、そして楽器 朴容淑 韓国文化12月

舞踊談義上方舞からノイエ・タンツまで踊りの秘話・極意 榎茂都陸平・上林澄雄 ダンス・ワーク29

みかぐらうたについて-舞踊と手おどりととの関連性 宮崎美智恵・三木孝子 天理大学学报131

「私の舞踊史」-1ジャーナリストの回想(18)~(23) 村松道弥 TES30~35

舞踊関係文献目録-昭和55年- 板谷徹 舞踊学4

外国の舞踊書から 片岡康子 同上

昭和55年度舞踊学修士論文一覧 同上

<芸術(一)>

日光山輪王寺 舞楽装束 サントリー美術館編・

発行

昭和56年秋の同美術館の展示の図録。「輪王寺舞楽装束総目録」「日光輪王寺舞楽関係年表並に関係史料」を収める。

続能楽の起源 後藤淑 木耳社

『能楽の起源』の続篇。能の先行芸能－神楽・田楽などの諸論考を収める。内容は、Ⅰ古代の継承、Ⅱ民俗と芸術の間、Ⅲ芸能史研究ノート拾遺

日本舞踊全集第五巻 演目解説Ⅴ 日本舞踊社編 日本舞踊社

演目解説Ⅴとして、「橋弁慶」から「三ッ人形」までの57作品につき、歌詞・字句解釈・解説・鳴物解説・踊る心得・舞台装置・衣裳・かつら・小道具図版・舞台写真を載せる。

修羅 家元制度打倒 花柳幻舟 三一書房
花柳流家元刃傷事件の被告である著者が、同事件の裁判の内容を報告し、家元制度を告発する。

日本新舞踊の踊り方 榊原帰逸 日本文芸社
舞踊小唄13曲、端唄・歌謡舞踊19曲、詩舞15曲、民踊33曲の踊り方を写真で示す。

特集：寢覚 観世1・2月

特集：田村 観世3・4月

特集：浮舟 観世5・6月

特集：玄象 観世7・8月

特集：三輪 観世9・10月

特集：自然居士 観世11・12月

特集：外記猿 邦楽と舞踊1月

特集：喜撰 邦楽と舞踊3～5月

特集：三社祭 邦楽と舞踊6～8月

特集：山姥 邦楽と舞踊9～11月

特集：羽根の禿 邦楽と舞踊12月

舞踊の基礎知識 日本舞踊

舞踊鳴物入門 5～7 1～3月

舞台と大道具について 1～9 4～12月

舞踊名言集成 郡司正勝 邦楽と舞踊1, 2, 5, 6月

日本舞踊の歴史⑭ 藤田洋 創作舞踊14

かぶき舞踊まで40 郡司正勝 日本舞踊9月

おどりの歴史 渡辺悠樹子 舞踊研究18～20

舞踊年表 如月青子 芸能1～12月

道成寺集成 XII, XIII 駒井義之・後藤瑠美子 舞踊研究19～20

江戸末期の南都楽所 笠置侃一 雅楽界56

天王寺舞楽と雅亮会のあゆみ 小野撰龍 同上

日本起源の高麗楽曲 ジェイムス・リード 同上

舞楽面遺品の探究とその研究 田辺三郎助 同上

左舞譜「賀殿」詳解 蘭広茂 同上

右舞譜「貴徳」詳解下 東儀和太郎 同上

真宗と踊念仏－異端への系譜とその実態 菊池武

芸能史研究72

獅子の能と獅子舞 能と中世芸能2 天野文雄 観世4月

「能」における時間と空間 富田信一 (淑徳大学)研究紀要15

複式夢幻能はどのようにして発生したのか－その一つの経路 徳江元正 国文学6月

「泣キ申楽」考－源流と史的位置づけ 天野文雄 国学院雑誌3月

翁と脇能－先行要素とその変容 三村昌義 芸文研究42

夢幻能の研究－井筒をめぐる 萩原由紀子 国文白百合12

「親子物狂能」考 竹本幹夫 能楽研究6

「護法」考 小林健二 能研究と評論10

「井筒」の劇的時空 鳥居明雄 日本文学10月

「三道」の改作例曲をめぐる諸問題 竹本幹夫 実践国文学19

作品研究「寢覚(みかへりの翁)」 浅見和彦 観世2月

作品研究「田村」 味方健 観世3月

作品研究「浮舟」 伊井春樹 観世5月

作品研究「玄象」 表章 観世8月

作品研究「三輪」 小田幸子 観世9月

作品研究「自然居士」 田口和夫 観世11月

却来華一能に於ける創造の問題 山木ユリ 日本文学10月

能における人物の位について－世阿弥の物学論能作論を中心に 堀越善太郎 湘南文学15

金春安照伝書における位の問題 堀越善太郎 国文学研究75

芸道における稽古論の性格 安部崇慶 広島大学教育学部紀要1(29)

近世初期踊歌とその芸能的性格の一側面 須藤豊彦 国学院雑誌7月

「上覧風流踊」のおどり歌－江戸初期歌謡資料の考察 井出幸男 国文学研究74

風流踊歌の諸問題 真鍋昌弘 芸能史研究75

所作事の成立とやつしの思想 板谷徹 舞踊学4

道成寺道行考 石井洋子 椋山国文学5

幕末嘉永七年のおどりの譜 丸茂祐佳 舞踊研究18～20

長唄地における娘形作品の技法的研究 丸茂祐佳 舞踊学4

娘形の分類 7・8 駒井義之・丸茂祐佳 舞踊研究17・18

諸流の昔と今 瀬川流 江口博 日本舞踊10・11月 上方の舞(5)～(8) 垣田昭 舞踊研究17～20

振付の美学 花柳芳次郎 舞踊研究17～20

目でみる創作舞踊(+) 邦楽と舞踊1・2月

昭和30年代の創作舞踊(1)～(7) 邦楽と舞踊5～9, 11, 12月

舞踊曲を聞きなおす 上林澄雄 邦楽と舞踊1~12月
 日本舞踊技法講座(5)~(15) 志賀山葵 邦楽と舞踊1~12月
 踊の心 邦楽と舞踊
 外記猿 西形節子 1・2月
 喜撰 目代清 3~5月
 三社祭 西形節子 6~8月
 山姥 目代清 9~11月
 羽根の禿 西形節子 12月
 舞踊参考室 日本舞踊
 万歳 矢野輝雄 1月
 舞妓 仁村美津夫 2月
 花がたみ 郡司正勝 3月
 一中・松風・松羽衣 竹内道敬 4月
 瓢箪鯰 仁村美津夫 5月
 松島 仁村美津夫 6月
 虫の音 長田午狂 7月
 都鳥 仁村美津夫 8月
 紅葉狩 松本亀松 9・10月
 六玉川 仁村美津夫 11月
 都十二月 矢野輝雄 12月
 芸話シリーズ 日本舞踊
 若柳吉三次芸話 1~3月
 坂東三津栄芸話 6~7月
 聞き書 河藤たつろ舞踊人生 鴨一平 創作舞踊14

<芸術(二)>

バレエの歴史と技法 蘆原英了 東出版
 昭和25年創元社刊の『バレエの基礎知識』の第四版を底本とした新版。
 劇場通りの子供たち-レングラード・バレエ学校の内幕- P.バーンズ ケイコ・キーン訳 文化出版局
 レングラードバレエ学校の歴史と現在を、後者はおもに写真によって構成する。同名のドキュメンタリー映画の制作のなかから生れた。
 ヌレエフ 芸術と半生(付・ヌレエフの手記) J. パーシヴァル 小倉重夫・森下洋子編 東京音楽社
 "Nureyev-Aspect of the Dancer" の抄訳。内容は「ヌレエフの半生」「クローズ・アップ」「ヌレエフを語る」「ヌレエフ考」「手記…ヌレエフ」。
 ウラーノワの芸術 B. リヴォーフ=アノーヒン 佐藤祥子訳 プロGRESS出版所
 ソビエトの代表的なバレリーナ、ガリーナ・ウラーノワの舞台と人生を描く。「ウラーノワの踊り」「精進の日々」のほか、主要な舞台の記録とレポーター、33頁の写真。

マーゴ・フォンテーンが語る バレリーナの世界 M.フォンテーン 湯河京子訳 音楽之友社
 "A Dancer's World"の訳。舞踊の世界の魅力を教え、バレエとバレリーナの世界を案内する。
 ニジンスキー・神への飛翔 新書館
 ムッフ<ペーパームーン>の一冊。内容細目は雑誌・紀要論文の項参照。
 崔承喜 高島雄三郎 むくげ舎
 昭和39年、学風書院刊の旧版に増補したもの。朝鮮の著名な舞踊家崔承喜の人生と舞踊の世界を語る。
 華麗なる舞踊 執行正俊 テス・カルチャーセンター
 モダン・ダンスの先駆者執行正俊の自伝。
 ジゼル 飯島篤写真 テス・カルチャーセンター
 1981年1月、ジェノバ市立オペラ劇場、チューリッヒ・オペラ・ハウスでの、森下洋子・ヌレエフ、チューリッヒ・バレエ団の公演の舞台写真集
 森下洋子バレエ全集 飯島篤写真 テス・カルチャーセンター
 3コッペリア
 4ロミオとジュリエット
 森下洋子の舞台写真集。それぞれ、上演史、作品解説などがつく。

特集：ディアギレフのロシア・バレエ 美術手帳 4月
 特集：ういういしい芸人・磨赤児 ダンス・ワーク29

近代舞踊におけるディレッタントイズムの果たした役割について 丸子睦美 舞踊学4
 モダン・ダンスの人物思想史小論-先駆者ロイ・フラ(Loie Fuller, 1862~1928)の舞踊思想と改革 片岡康子 お茶の水女子大学人文科学紀要34
 ディアギレフ芸術の推進者 久保正士 ダンス・ワーク29
 季節の席捲-時代の演出 市川雅 美術手帖4月
 同時代人の肖像 189人 同上
 ディアギレフ・バレエ団上演録 同上
 さまよえるスラヴ人 ディアギレフとバレエ・リュス 海野弘 同上
 闇の中の牧神 伊東杏里 ニジンスキー NIJINSKYへの熱い想い 淀川長治 同上
 牧神の幻影 海野弘 同上
 ジョルジュ・ドン 青井陽治 同上
 ルドルフ・ヌレエフ 井辻朱美 同上
 ミハイル・バリシニコフ 井辻朱美 同上
 地上の愛に傷ついた天使 市川雅 同上
 アンドロギュヌスと踊る半神たち-バレエ・リュ

ッスの男性舞踊手 須永朝彦 ニジンスキー
<心霊>の舞台を飾った人—ニコライ・レーリッ
クの世界 荒俣宏 同上
描きだされた美と陶醉 山岸涼子・青井陽治 同
上
バレエの世紀—日本で上演されるバレエ 藤井修
治 同上
"クリュタイムネストラ"とグラハム・テクニッ
ク 和田春恵 藤村学園東京女子体育大学紀要16
デニション時代(1914~1931)に関する研究
片岡康子・山田敦子 舞踊学4
世界のバレエ団2 ドイツのカールスルーエ州立
バレエ団 薄井憲二 ダンス・ワーク29
バレエ花伝書■服部智恵子口伝バレエ教室(15)~(20)
TES 30~35
Ballet Story (1)~(6) TES 30~35
もだんだんすみであるき(6) 木村英二 TES 30
新西洋舞踊事情(1)~(4) 木村英二 TES 32~35
バレエ・プロムナード(1)~(2) 薄井憲二 TES 34
・35
ケイコのバレエ便り(1)~(2) ケイコ・キーン
TES 34・35
バレエ&バレエ③法村牧緒にきく ケイコ・キーン
ダンス・ワーク29
幕のうちそと 藤井修治
9. YOKO THIS YEAR 80 森下洋子 30
10. 亀ヶ谷環 31
11. 仁科唯志 32
12. 堀内 完 33
13. 河童を覗いてルーツをさぐる 34
14. 大原永子 35
対談：舞台芸術の源を考える / 「海賊」をめぐっ
て 小牧正英・阿部千律 TES 31
対談：マリカ・ベゾブラゾヴァを迎えて 桜井勤
TES 32
インタビュー：カナダの異色ダンサー—マギー・
ギリスに聞く 桜井勤 TES 32
対談：石井みどりさんと語る 佐藤寅雄 TES 32
インタビュー：イヴリン・ハート / デヴィッド・
ペレグリンを迎えて TES 33
インタビュー：有吉京子・バレエを通して人生を
語りたい TES 33
座談会：モスクワバレエ学校教師ワシリーエワを
囲んで 野崎韶夫・N.タチアナ・西岡嬌云子・
茂木明子 TES 34
インタビュー：菊池純子 TES 34
インタビュー：アレクサンドラ・ダニロワ 島田
広 TES 35
舞踊の病いと死期Ⅶ—大野一雄舞踏公演「わたし
のお母さん」 中村文昭 ダンス・ワーク29
現代舞踊作家論16 踊りを生きる人—折田克子
今野裕一 同上

ういういしい芸人・鷹赤児 高瀬泰司 同上
十二の光 鷹赤児 ダンス・ワーク29
高木徳子=薄幸のショー・ダンサー 曾田秀彦
明治大学人文科学研究所紀要19
私のサロメ 七つのヴェールの踊り 長嶺ヤス子
新劇12月
インタビュー：私が舞台に立てばそれが卑弥呼—
フラメンコの律動を生きる炎の女長嶺ヤス子さ
ん 長嶺ヤス子・前田秀男 朝日ジャーナル9月
18日
世界のプリマドンナ—美しく舞って三十年—森下
洋子さん(この人と30分) 西村いき子 革新
2月
踊るを語る 対談：石井満隆・川仁宏 美術手帳
5月
インタビュー：朝鮮舞踊三十年 小沢恂子 伝統
と現代71
(敦煌)発見の舞譜<浣溪抄>(資料1)の解
読—敦煌舞譜研究第五稿— 水原渭江 大谷女
子大学紀要16-2
Misson Paul Pelliot の Toven—Hovang
(敦煌)より発見の舞譜<浣溪抄>(資料3)
及び<鳳婦雲>(資料1)の解説—浣溪抄資料
3—敦煌舞譜研究第七稿— 水原渭江 大谷女
子大学紀要16-2

<民俗>

民俗芸能辞典 仲井幸二郎・西角井正大・三隅治
雄編 東京堂出版
日本の各地の民俗芸能項目のほか、種目名・
祭事・歌謡・楽器・扮装・採物など約千項目
を収める。三隅の概説、巻末に参考文献・芸
能暦。
平野・有東木の盆踊り 静岡市教育委員会編・発
行
国選択の無形民俗文化財である静岡市平野・
有東木の盆踊りの報告書。内容は、「盆のま
つりと芸能」「平野の盆踊り」「有東木の盆
踊り」「安倍川流域の盆踊り」「盆踊りの伝
播をめぐる」。
上鴨川住吉神社の神事舞 上鴨川住吉神社神事舞
調査団編 兵庫県加東郡教育委員会
内容は、上鴨川住吉神社の歴史と環境、宮座、
芸能、仮面、宮座行事と芸能の現状、周辺
地区の宮座と芸能、これまでの研究と参考文
献、神事舞の音楽。
芸備風流踊り歌集 広島女子大学国語国文学研究
室編・発行
芸備地方に伝わる小歌踊14ヶ所、太鼓踊4ヶ
所の解説と詞章
広島県の神楽 真下三郎 第一法規

第一章・神楽の生い立ち，第二章・広島県の神楽について，第三章・広島県の神楽，第四章・広島県神楽の演目。

伝承 米良神楽 中武雅周著・発行

宮崎県児湯郡西米良村に伝わる神楽の，神楽人自身による解説書。

荒尾の風流 荒尾市教育委員会編・発行

熊本県荒尾市の野原八幡宮に奉納される風流の報告書。野原庄と野原八幡宮の概説のほか，「荒尾の『風流』の考察」（吉川周平）と関係史料を収める。

民謡「秋田音頭」の変遷について 茂泉陽子・工藤英三（秋田大学）教育学部研究紀要31教育学

王祇祭黒川能 金春信高 能楽タイムズ4月

相馬の手踊り 懸田弘訓 民俗芸能61

新妻子安神社のオビシヤ 星野紘 民俗芸能61

徳山のしかん舞い 吉川祐子 まつり通信 246

花祭の御神楽と熊野 五来重 まつり通信 249

春日大社・住吉大社における社伝神楽について

小野功竜・大谷紀美子 相愛女子大学研究論集音楽学部編28

出雲神楽と大元神楽 石塚尊俊 山岳宗教史研究叢書15

荒神神楽と山陽道の神楽 三浦秀宥 同上

備後の荒神神楽について 牛尾三千夫 同上

備後霊祭神楽と山岳芸能 西田啓一 同上

大元神楽現地公開について 牛尾三千夫 芸能10月

大元神楽見学記 岩田勝 まつり通信 243

淡路の梯子獅子 田中義広 まつり通信 245

周防金峰の昔踊り 武井正弘 山岳宗教史研究叢書15

南阿波の盆踊り 田中義弘 まつり通信 246

土佐の山伏神楽と修験道文化 高木啓夫 山岳宗教史研究叢書15

対馬西浜の盆踊りと年齢階梯制(1)(2) 末成道男 聖心女子大学論叢57, 58

佐伯神楽と杖踊り 田中義弘 まつり通信 245

高千穂神楽とその周辺－修験道との関わりを視座に 山口保明 山岳宗教史研究叢書15

椎葉の霜月神楽 武井正弘 山岳宗教史研究叢書15
銀鏡神楽 藺田稔・茂木栄・渡部雄吉(写真)
季刊民族学15

動きの世界・鹿児島島の民俗芸能 吉川周平 女子体育10月

種子島大踊 下野敏見

多良間島の八月踊り 田中義弘 まつり通信 250

資料紹介 石垣市東家所蔵本「伊祖の子組」 当間一郎 沖縄芸能史研究5

サルプリ舞の根源と生成過程 金淑子 韓国文化12月

韓国の野外仮面劇 李杜鉉 季刊民族学15

仮面とその笑い 梁民基 伝統と現代71

踊子マンダラ ラダックーヘミス寺とフィアン寺の祭り 小林暢善・加藤敬(写真) 季刊民族学15

インドの歌舞劇－西ベンガルのチョウとカルナータカのヤクシャガーナ 宮尾慈良 芸能4月

神がみの跳梁 チョウとヤクシャガーナ－インドの舞踊劇 峰岸由紀・関口淳吉(写真) 季刊民族学16

漢民族の喪礼における哭踊の原始的心性 栗原圭介 大東文化大学漢学会誌20

中国少数民族の歌舞－海南島，雲南省を訪ねて 星野紘 文化財8月

チワンゴンパ spyi-dban-dgon-pa の仮面舞踊劇マニリンドゥについて 佐々木隆子 印度学仏教学研究29-2

生きているタントラ・仮面舞踊 加藤好弘 美術手帳8月

民族の芸能 藤井知昭 中央公論

1. ラダックの楽と舞/婚礼の舞人たち 1月
2. タンジェの大道芸人 2月
3. ヒンドゥーの神々と舞踊 3月
4. 竜船の頭と楽人/清水江ミヤオ族・歌唱の世界 4月
5. カラコルムの楽人たち 5月
6. サハラ・地底の踊り 6月
7. タマシャの踊り 7月
8. クルド族の哀歌 8月
9. マラケシュの大道芸人 9月
10. ベルベル族の歌と踊り モロッコ・マラケシュ 10月
11. パシュトゥーン族の楽人 アフガニスタン・ジェララバード 11月
12. (イ)族の跳楽 中国雲南・石林 12月

<教育>

動きの教育 L. E. シュヴァイガード 村井孝子・神崎典子・江尻美穂子・山口順子訳 杏林書院
舞踊を主題とはしないが，身体運動教育の基本的な哲学を実際に即して述べる。内容は，Ⅰ人間の動きの力学的解剖学的構成要素，Ⅱ神経筋による動きの生成，Ⅲ骨格配列の型，Ⅳ姿勢と動きの改善を授けるもの，Ⅴ緊張を解き神経一筋調節を改善するための技法

特集：「からだの動き」による教育 体育の科学9月

舞踊行為の間主観的構造－舞踊教育をめぐる－ 矢野久英・笹部桂子 東京学芸大学紀要5(33)

舞踊運動の発達について 佐分利育代 鳥取大学
教育学部研究報告 教育科学23
創作ダンスに関する研究—運動表現の発達過程に
ついて— 今雪美千恵 福岡教育大学紀要30-5
創作舞踊の効果的指導に関する研究—動きの分析
を中心に— 井上勝子 熊本短大論集31・3
舞踊創作の過程における空間形成の変容 村浦と
く・吉田美津 (埼玉大学)紀要・人文・社会科学
29
ダンス嫌いの要因の分析—自己概念との関連から—
長谷川美恵子・酒井紀子 体育学研究26-1
教育舞踊における運動主題記譜法の応用(Ⅱ) 堀
野三郎 舞踊学4
ダンスの指導における一考察(2)—指導者と学習者
の言語より— 大島敏・富田美智代・三反野康
子 同上
舞踊教育の問題点について 近藤英男 同上
米・英のダンス教育事情 三浦弓杖 学校体育9
月
表現運動(ダンス)の学習指導を発達段階を通し
てどう進めるか 川口千代 学校体育12月
からだの動きによる教育 森下はるみ 体育の科
学9月
ムーブメント教育 小林芳文 同上
動きの教育に関する一考察 江尻美穂子 同上
ことばの発達とからだの動き 鈴木敏朗 同上
「からだの動き」と身体認識 星野公夫他 同上
サイコ・セラピーとからだの動き—A・ローウェ
ンの生体エネルギー法を中心に— 野田雄三・
池田良子 同上
創作ダンスとからだの動き～心とからだ～ 金井
英三枝 同上
スポーツをエイトビートにのせて 位高美代子
学校体育1月
創作ダンスにおける題材としてのスポーツ 調布
中学校保健体育科 学校体育1月
ダンス学習の基本的段階 女子体育1・2月
保育園・幼稚園 植村スナ・高橋紀子・小口端
子・永井正子
小学校 木村ヒデ・相場了・小野圭子・村上京
子・沢田マサエ
中学校 川口千代・松本香代子
高等学校 斉藤千代子・三浦弓杖
ダンス学習の基本的段階の充実 女子体育4～12月
“こんな内容を—, こんな方法で—” 松
本千代栄・藤沢史枝・相場了・山田敦子・大
谷久子・片岡康子・川口千代・三宅香 柴真
理子
幼稚園・保育園 森安万亀子・寺見陽子・井原
卯佐子・柴紘子・岸純子・石井みさ・加藤や
よい・堀合文子・高橋正夫・桐生敬子・長沢
恵美子・畠山トミ・浅川恵子・高橋紀子・平

岡芳美・村田修子・碓井エイ・坂崎喜久子
小学校 金井和子・相場了・渡辺寿子・小林マ
サエ・植田恵子・松浦治子・河瀬久子・佐分
利育代・三浦弓杖・西平梅子・斉藤千代子・
山下久美子・渋谷弘子・榊原琴美・福井グル
ープ・押元里美・雨ヶ崎俊子・穴迫洋子・舛
田容子
中学校・高等学校 浜本量子・川田節子・小松
智子・木村由美子・小柳義三郎・高野章子・
椎名瑞子・徳家雅子・林真幾子・三宅香・松
本富子・川口千代・橋本真弓・小西真理子・
安藤節子・金広浩・佐藤絢子・津田史枝
伊沢エイに関する研究—1— 山田敦子・田川典
子 藤村学園東京女子体育大学紀要16
日本女子体育連盟共同研究 女子体育
表現学習の多様化を目指して—運動からイメ
ージへ 北海道連盟・松本千代栄 5月
ダンス・表現運動の学習過程における学習内容
をどうおさえるか 宮崎県連盟・相場了 9
月
表現運動・ダンスの学習指導のあり方を求めて
秋田県女子体育研究会・川口千代 11月
表現教育講座 女子体育
アメリカの運動教育 茂木茂八 1月
へき地校の表現運動 梅本二郎 2月
ダンス・表現の学習内容をどう設定するか 日
本女子体育連盟提案グループ 4月
総合的な表現学習 流田直 6月
「美しく歩く」歩き方を考える 阿久津邦男
7月
運動と感情 松田岩男 10月
教育における表現の意味 佐藤裕 12月
保健・体育授業の実践的研究 体育科教育
(13)(14)民舞「そうらん節」の授業 高橋末子・熊
谷哲太郎・池田雅子・中森孜郎 4・5月
(20)民舞「みかぐら」の授業(中学校2年) 高
橋連子・中森孜郎 12月

— 補 遺 —

< 総 記 >

舞踊の本質に関する研究—舞踊の遊戯性について—
田中ケイ子 都留文科大学研究紀要16
舞踊空間における移動運動の表現的性質に関する
研究—直線移動の場合— 林信恵・穴迫洋子・河
野恵 大阪体育大学紀要12

<芸術(一)>

琉球古典舞踊の基本構想－女踊りを中心に－ 大
城学 沖縄文化54

沖縄伝 「組踊」創始者玉城朝薫の生涯と琉球劇
文学－「組踊」研究と創作の試み－ 川平朝申
同上

<芸術(二)>

ドン・キホーテ 飯島篤写真 テス・カルチャーセ
ンター

1980年11月、ロンドンコロシウムにおけるヌ
レエフフェスティバルのヌレエフ、森下洋子
によるバレエ「ドン・キホーテ」の舞台写真
集

<教育>

参加意識と作品創作の成果から見た創作ダンスに
おける創作過程 中村久子 徳島大学学芸紀要・
教育科学29

(板谷 徹)

付記：本目録作成のため、学会員諸氏の御協力をお
願い致します。論文抜刷を学会事務局宛御送付い
ただければ幸いです。

外国の舞踊書から

Dance Research Journal (1980-81), Dance Magazine (1981), Dance & Dancers (1981) などの新書紹介欄に取り挙げられた舞踊関係の単行本の中から、重要と思われるものを、紹介の抄訳とともに掲げる。

Dance Curriculum Resource Guide :
Comprehensive Dance Education for
Secondary Schools

by Nadia Chilkovsky Nahumck
(American Dance Guide, Inc.)

一般的な中学校のダンス・カリキュラムについて、カリフォルニア大学名誉教授の著者が、実践を通して、トレーニングとは異なる舞踊教育について書いたもの。運動による伝達パターン、文化の反映としての舞踊に関する視点をもった指導等を含む様々な角度からのカリキュラム構成を紹介している。

Dance Education and Training in Britain
by a panel of British dance educators
(London: Calouste

Gulbenkain Foundation)

舞踊教育に苦心している人の為に、新しいプログラムとプランの基礎を提示した書。第一章は、『舞踊という行為は、人間の社会性の発達を促す重要な要因である』という前置きで始まり、イギリス周辺地域の舞踊教育グループの説明と分析へと進めている。

Follow Me : A Handbook of Movement
Activities for Children
by Englewood Cliffs

(Prentice-Hall Inc.)

子供の発達にとって、なぜ運動が必要なのかを述べた良書。ムーブメント・ゲームとその練習についての説明を集めたもので、例えば、円の一方から他方へ、他の子供とぶつからずに走ることで、距離感を認識させたり、また、空間関係に気付かせたりさせるような一般的な運動発達のカテゴリーの中に多種のゲームを位置づけている。

Baryshnikov : From Russia to the West
by Gennady Smakov

(Farrar, Straus & Giroux)

現在、アメリカン・バレエ・シアターの第一男性舞踊手、バリシニコフの伝記。この書で注目すべき点は、彼のロシアでの幼年時代と、その後の

アメリカでのロシアの友人との交際についての著述である。

Conversations with a Dancer

(St. Martin's)

ダンス・マガジン誌上のインタビュー記事の1つとしてはじめられたもの。いかにしてダンサーになり、その地位を確保してゆくか、また、トレーニング法、リハーサル、舞踊団でのダンサーとしての芸術観などについて、知性・感性を備えたインタビュアーが、舞踊家の価値ある言質を取っている。

Dancer to Dancer : Advice for Today's
Dancer

by Melissa Hayden

(Doubleday Anchor Press)

習熟した舞踊家である著者が、芸術舞踊と若いダンサーへの愛情をもって、具体的・実際的な——例えば、シューズ、脚の保護、食物、孤独感——情報を集め著述したもの。

The World's Great Ballets : La Fille
Mal Gardée to Davidsbundlertänzo

by John Gruen

(Harry N. Abrams Inc.)

アメリカ、ヨーロッパの新旧バレエ団について、写真を多用しながら解説した書。著者は、現在まで舞踊に関する多くの著述・放送を通してコメントしているが、最終的に舞踊は "visual art" であるとの見解をもち、これに基づいて、ダンサー、振付家、また、用語や歴史についても述べている。

Giselle & Albrecht : American Ballet
Theatres Romantic Lovers

by Doris Hering, Fred Fehl (photo.)

(Dance Horizons)

ジゼルが作品として上演されて以来、140年経た現在、著者は、バレエのレパトリーの1つの基石として、この作品を洞察し、過去の優れた演技についても述べている。さらに、写真家のフレッドは、彼のキャリアの中で歴史的価値を失っていない最上のジゼルとして、アメリカン・バレエ・シアターで上演された写真を掲載している。

Letters from a Ballet Master : The
Correspondance of Arthur Saint-Léon

by Ivor Guest

(Dance Horizons)

ダンサーとして、かつ振付家、バレエ・マスターとしても有名であった、セント・レオンの、晩年5年間の書簡集。手紙は主に、彼の偉大な業績で

ある「La Source (1866)」「Coppélia (1870)」
についてのもので、他に、同時代の著名な舞踊家
たちとの交換もみられる。

The One and Only: The Ballet Russe
de Monte Carlo

by Jack Anderson

(Dance Horizons)

ディアギレフの死後、二分したバレエ・リュスに
ついて、1938年から1962年まで続いた、セルジュ・
デンハムの組織を、その活動、他への影響を考察
しながら唯一のバレエ・リュスであると定義した
のが著者である。

ディアギレフのリュスが、いわゆるロシアン・
バレエであったならば、デンハムのカンパニーは、
バレエにおける、アメリカ人気質の作品を形づく
ったと述べ、ここからはマシーン、フランクリン、
バランシーンなどが誕生している。そして、彼ら
の作品は、一流のシンフォニック・バレエであり、
かつ、新古典主義とモダン・ダンスを統合した、
「折衷主義」的な真のアメリカン・バレエである
と述べている。

The Royal Ballet. The First 50 Years

by Alexander Bland

(Threshold Books)

The Royal Ballet. A Picture History

by Kathrine S. Walker

Sarah C. Woodcock

(Corgi Books)

両書とも、ロイヤル・バレエの50年を回顧して
書かれたもの。前書は、このバレエ団に関わった、
振付家、ダンサー、また作品や、オリジナルの出
演者など、さらに、その歴史的意義などについて、
批評家としての著者が詳しく述べている。後書は、
主に、作品の写真やイラストが、適確な解説と共
に載せられており、歴史を概観するのに良い書と
いえる。

The Bournonville School

ed. by Kirsten Ralov

(Marcel Dekker Inc.)

19世紀オランダのバレエ・マスターであったオ
ーガスティン・ヴォーノンヴィルが、彼の学校で
指導した内容や方法などが記録されている。第1
部は毎日の授業内容、第2部は伴奏音楽（当時は
ヴァイオリンの伴奏であったが、1930～34年頃に
ピアノ用に編曲されたもの。付録としてレコード
がついている）、第3部、第4部は各々ベネッ
シュ・ノーテーションとラバァノーテーションによ
る動きの記譜。彼の弟子エリック・ブルーンは当
時のレッスンを回顧しながら、内容は日々変化し、

バーレッスンは非常に短かく速く、それはレッ
スンというより振付けクラスであったと語っている。

Gestures, Their Origin and Distribution

by Desmond Morris 他

(NY: Stein & Day)

「裸のサル」「マンウォッチング」他数々の著
作のあるモリスらによるジェスチャーの分布に関
する研究書。西ヨーロッパ40ヶ所の土地で、あ
らゆる階層から抽出された30人の成人男子を対象に、
20種の象徴ジェスチャーについて面接質問し、地
理的にジェスチャーの分布状況を調査している。
その結果、地理的に近接しているからといって、
必ずしも同じ意味を表わす同じ動作をもっている
とは限らないことが判明したという。ジェスチャー
の流布を阻止する障害物として、文化的偏見、
地理的障害物（山など）、言語の相違などの要因
が検討されている。

Introduction to Dance Literacy

by Nadia Chilkovsky Nahumck

(International Library of African Music)

本書の内容は、音楽における楽譜のように、そ
こに記述された記号から舞踊の動きを読みとり学
習することが可能となる記譜法とその応用である。
ラバノーテーションの基本的導入の後に、構成要
素（時間・空間・力）の型ーリズムック・パター
ン、フロアー・パターン、キネティック・パター
ン、エフォート・パターンが研究されている。

Music and the Dance

by Elwood Priesing

(NY: Exposition Press)

舞踊と舞踊音楽に関する研究は、ここ数10年間
に人類学、歴史学、書誌学、舞踊美学などの広範
な学問分野にわたって学者たちが、めざましい成
果をあげている研究領域である。著者は、原始か
ら現代までの音楽と舞踊の関連を探ろうという野
望をもって取組んでいるが、長い歴史を網羅しよ
うとしているためか、細部に疑問点が残っている
ことが惜しい。イラストレーションと音楽の事例
などがのせられている。

Transformations: A Memoir - The

Humphrey - Weidman Era.

by Eleanor King

(Dance Horizons)

ドリス・ハンフリーに関する著作が近年2冊刊
行された。1冊はStodelle著「ドリス・ハンフ
リー・テクニク」であり、もう1冊が本書である。
著者はハンフリーの初期の創造活動に焦点をあて、
グラハムに並ぶアメリカ・モダン・ダンスのパイ

オニアの芸術と人生に接近している。全体は12章あるが、各章でハンフリーの作品がとりあげられていることが興味深い。またハンフリーがいかに多くのスタッフと交流したかなどが記述されている。

Competing with the Sylph

by L. M. Vincent

(Andrews and McMeel)

著者Vincevtは内科医であり自らも踊るという人物である。彼の既刊書に「Dancer's Book of Health」がある。本書のサブタイトルは、Dancers and the Pursuit of the Idea Body Form. 医学と舞踊の知識を駆使して論じられているが、決して難解ではなく、ダンサーにとっても彼らを診察する医者にとっても役に立つ内容が多い。

To Dance is Human: A Theory of Nonverbal Communication

by Judith Lynne Hanna

(Univ. of Texas Press)

本書は容易に読解できる内容ではないが、じっくりと時間をかけて一読する価値のある本である。著者は人類学的展望を舞踊学に持ちこんで雄弁な論を展開しており、人類学に関する基礎知識を持って読む必要があろう。主な内容は舞踊の人類学的定義、身体人類学の視点からの舞踊論、社会・文化と舞踊の伝達システム、将来の研究方向などであり、非常に興味深い。

A Study of Ballet Technique

by Ann Hutchinson Guest

(Royal Academy of Dancing)

ロイヤル・アカデミー・オブ・ダンシング(R.A.D)の子どもたちのための教授課程要目は、バレエの指導法として非常に高く評価されている。本書はこのR.A.Dの教授要目にもとづいたバレエ・テクニクの学習書であり、ラバノーテーションの入門書である。視覚的に明瞭で正確なラバノーテーションによって、バレエ・テクニクの分析・記述がなされている。さらに基本的な記譜から次第に高度な内容へと構成され、容易に古典的レパートリーを読解する能力が身につくように工夫されている。

Hula: Historical Perspectives

by O.B.Barrere, M.K.Pukui, M. Kelly

(Department of Anthropology, Bernice Pauahi Bishop Museum)

著者らが各々の専門領域の知識から、フラの歴史や特性などを論じている。Barrereはフラの起源を探り、18~20世紀初頭までの歴史的発展、さ

らに構造・儀式・訓練法などを明らかにしている。Pukuiは自分自身のダンサーとしての体験から、訓練法・教師・卒業式・フラの演技構成などを論じ、フラの8つのジャンルを歌のテキストつきで解説している。Kellyはフラに関係のある遺跡を考古学的に調査し、どこで、どのように催しが行われたかを究明している。

The Dance of Tahiti

by Jane Freeman Moulin

(Christian Gleizel/Les editions du Pacifique)

本書の内容は、第1章「タヒチ・ダンスの歴史」、第2章「現代のタヒチ・ダンスの社会学的調査」であり、ダンスグループの組織、構成員、練習、演技などが調査報告されている。第3章は現代のタヒチ・ダンスの4つの様式について、動き、群構成、音楽形式、伴奏などが解説され、その他に伴奏楽器、衣裳、踊られる場などが記述されている。またタヒチ・ダンスの自然さをとらえた美しいカラー写真、タヒチアンタームの解説、楽譜が付録としてついている。

New Directions in Dance

ed. by Diana Theodores Taplin

(Pergamon Press)

本書は、1979年6月ウォーターロー大学で開催された第7回舞踊会議(カナダ)の論文集である。18の論文が①美学と批評、②歴史、③科学の応用、④記譜、⑤政治と教育の分野に分けて編集されている。主要論文のテーマをあげると、「アリストテレスの演劇論の舞踊批評への応用」「ドイツ表現主義絵画とモダンダンスの発展にみられる相似的傾向」「コンピューターを利用したダンス・ノーテーション」「フォークンの宣言とレ・シルフィード」などがある。

Jazz Dance: The Story of American Vernacular Dance

by Marshall and J. Stearns

(Macmillan Pub., Co.)

本書はVernacular Dance, すなわちアメリカの土地本来のダンス、ジャズのリズムにのって踊られているアメリカのダンスを研究したものである。著者らは特に、アメリカ黒人のダンスについて論じ、動きの特徴や運動言語について検討している。Vernacular Danceの起源はアフリカン・ダンスであるとし、両者に共通した動きの特徴をいくつかあげている。①フラットな足によるステップ、②うづくまる姿勢、曲げた膝、腰から前屈したボディー、③即興性の重視、④腰からの遠心的動き、⑤推進力のあるリズム。その他歴史的概観もなされ、多くのダンサーとのインタビューもある。

Le Danse et L'Enfant

〈舞踊と子供〉 クロード・ベッシー著
(アシェット・リアリテ及び国光劇場〈出版社〉)
1972年以來オペラ座の教師であるベッシーの書いたもので、コール・ド・バレエに参加する時の心構えなどについて触れている。

Le Ballet

〈バレエ〉 マンドレ及びウラデミール・ホフマン
(ホルダス社刊)
豪華なイラストによるバレエの歴史。世界のバレエ団、バレエ・ダンサー、などが網羅されている。

Le Ballet de 1581 an nos yours

〈バレエ-1581年から今日まで〉
マリオ・バシ著 (ドゥノール社刊)
1979年イタリア語によるバレエ辞典“IL Ballett”

を出版したイタリアの舞踊評論家パシの力作。バレエはルネサンス畑にイタリアに発生したことを考える、イタリア人の著述によるバレエ史は是非読まねばなるまい。

L' Homme et Ladanse

〈男性と舞踊〉 ジャン・ピエール・パストリ著
(ヴィロ社刊)

スイスの舞踊評論家パストリの書いたもの。舞踊の歴史のなかで、女性舞踊手の気品、繊細さなどが強調されることが多かった。だが、今世紀初頭ニジンスキーが現れて以来、男性舞踊手が重要な位置を占めるようになった。リファール、テッド・ショーン、ローラン・プチ、ベジャール、ヌレエフ、ヴァシリエフ、バリシニコフ、マーチンス、などを論じている。

(市川 雅・片岡康子・安村清美)

昭和56年度 舞踊学関係修士論文一覧

- ※ 1. 大学院名 50音順
- 2. 昭和57年3月末日現在・返答
大学院12校

題 目	氏 名	大 学 院 名
舞踊創作教育における言語の問題	佐々木昌代	お茶の水女子大学大学院 人文科学研究科
インド古典舞踊とその周辺 — 舞踊の美を求めて —	三好 智子	“
舞踊におけるコミュニケーション に関する一考察	栗原 理子	筑波大学大学院体育研究科
日本における舞踊文化の戦後史 に関する一考察 — 組織史を通じて —	山口ひとみ	東京学芸大学大学院 保健体育研究科
モダン・ダンスの系譜	妹尾 恭子	早稲田大学大学院 文学研究科